



熱中症対策、命に関わる 問題として対策を

日本共産党湖南省議員団 ● 松井 けい子 議員

問 今夏は記録的な猛暑。今年6月、国は4月以降の新規生活保護世帯のエアコン設置に5万円の補助を出す通知しました。全ての生活保護世帯を対象にするよう国に求めること。生活困窮家庭に対して、市独自の設置補助制度を創設する見解は。

答 以前の受給中の方は、買い替えを含め、生活費のやりくりか貸付金の活用によって賄うべきと考え、全ての生活保護世帯に扶助を国に求める事も市独自支援も考えておりません。

問 保護世帯のエアコン設置状況の調査は。

答 現在、定期訪問時や収入申告等で来庁された時、電話により設置の有無の確認を進めています。

問 生命にかかわる深刻な問題です。電話連

平成29年度結果	対象者	受診者	受診率
成人健診		444人	3.10%
特定健診	8,582人	3,570人	41.60%
肝炎ウイルス検診	762人	86人	11.30%
胃がん検診	30,570人	877人	2.90%
肺がん検診	30,570人	450人	1.50%
大腸がん検診	30,570人	1,679人	5.50%
乳がん検診	15,291人	1,400人	18.80%
子宮がん検診	21,435人	1,643人	15.70%

絡で調査し、迅速な対応が必要ではないか。

答 迅速な対応ができてなかったと反省しています。

問 電気代を心配し、使用をためらうという方がおられます。夏季加算が必要では。

答 光熱水費は、冬季加算が設けられています。夏場に電気代が高くなる想定はできませんので、家計のやりくりで賄うべきと考えます。

健康寿命延伸のための健診・検診の受診率は

答 胃癌、肺癌、大腸癌の受診率は、県内の中で低い状況です。



庁舎建設は何よりも 市民と職員の命を守ること

日本共産党湖南省議員団 ● 立入 善治 議員

どうなる会計年度任用制度の導入で職員の働き方は？

問 地方公務員法・地方自治法の改正「会計年度任用制度」の導入影響について伺います。

答 大きく自治体職員の働き方が変化することはありません。

庁舎建設で概算工事費は53億円を予定

問 庁舎整備計画について現時点での到達点を伺います。

答 複合化施設は、保健センター、中央まちづくりセンター、集約化は、サンライフ甲西西庁舎の行政執務機能を予定。概算工事費を53億円と予定。東庁舎は旧耐震基準で建築、震度6強から震度7で倒壊の危険性があると診断。阪神淡路大震災の際に東庁舎壁面にクラック、大阪北部地震でさらにクラックが拡がり、直下型地震が起

きれば建物倒壊の危険性が懸念されています。

問 財政の硬直化が言われているが、今後の財政計画はどうなりますか。

答 複合庁舎整備は大規模事業であるが、これまでも学校改築に25億円、甲西橋に20数億円。そういった規模感だということですが。起債の償還については一時的に2021年ごろに償還のピークを全体として迎える。その後は減少していく。限られた財源の有効活用が大事です。

今こそ、ウツクシマツの保護・育成を

問 ウツクシマツの保護・育成について

答 ウツクシマツの生地保存策定委員会で保存管理の方向性を検討し計画を策定していきます。